

見かけたらご連絡ください

「アマミサソリモドキ」、久留米で初発見



撮影：福岡県保健環境研究所



撮影：福岡県保健環境研究所

令和2年10月14日、市内で初めて発見された個体(久留米市田主丸町)。
福岡県内では2例目の発見事例です。

「サソリモドキ」とは

日本列島の固有種であり、九州南部から奄美群島まで自然分布しています。久留米市内には本来生息していないため、人為的に持ち込まれた可能性が高い「国内外来種」です。侵入経路は不明ですが、幼体も発見されており、繁殖している可能性があります。

特徴や生態

体長は最大約40mm。夜行性で、昼間は石や倒木の下に隠れていることが多いです。肉食性で、昆虫やクモ類などを捕食します。繁殖期は6-9月で、30~60個ほどの卵を産みます。

「サソリ」の名が付きませんが、サソリとは別系統の種です。**毒は持ちませんが、刺激すると、強い酢酸臭のする液体を出します。**液が皮膚に付くとヒリヒリ痛み、目に入ると激痛を起こします。

皆様へのお願い

素手でつかんだり、むやみに刺激しないようにしてください。
疑わしい生物を見つけた際は、下記連絡先までご連絡ください。

連絡先

久留米市環境部環境保全課 〒830-0042 久留米市荘島町375
TEL：0942-30-9043 FAX：0942-30-9715 e-mail：kanhozen@city.kurume.lg.jp